

努めてまいりたい。

それらの結果をふまえて栗山川汚染防止対策協議会等にも諮りながら、リサイクル処理施設の設置について検討してまいりたい。

文化芸術振興

問 文化芸術施策の実態と今後の取組みについて

答 特に小学校を中心に芸術鑑賞を呼びかけており、横芝小学校では、ミュージカルの上演等を含め年1回行っている。また、文化会館を拠点とし、映画鑑賞会、公民館クラブによる書道、絵画等の学習、文化祭における秋の発表会などを行っている。これからも心豊かで創造性の高い活力ある社会を築くため文化・芸術環境の整備に努めてまいりたい。

男女共同参画社会

問 ①男性対象の読み聞かせ講座の開催について

②児童、生徒の男女混合名簿導入について

答 ①読み聞かせについては町を中心に、男性対象ということではなく、男女ともに参

加できるような環境づくりを図ってまいりたい。

②4月から各小中学校において、あいいうお順に男女混合名簿の導入を決定している。

教育

問 ①子ども議会について

②ソーシャルスキル(社会生活に適用できる能力や技術)導入について

③本町におけるADHD(注意欠陥多動性障害)について

答 ①社会の認識を深めるための学習活動の一環として、学校側とも十分協議をしながら取り上げてまいりたい。②総合的な学習の時間を年間何時間か設け、そうした中で取り入れてまいりたい。③現在は医師の診断を受けながら特殊学級で、先生とマンツーマンで指導してる。また、今後そういう児童・生徒がいたら、環境づくりに十分注意をし、医師と相談しながら、対応していく考えである。

福祉

問 ①母子健康手帳について

②産褥ヘルパー制度の設立に

ついて

答 ①効率的な事業実施という観点から一般的に全国で普及している手帳を配布している。配布にあたり、町の主な母子保健サービスと題した印刷物等により、健康診断や予防接種はもとより新生児訪問や母親学級の案内など横芝独自の育児支援情報についても提供しているところである。

②シルバー人材センターの活動メニューの中に家事援助サービス等行うこととなっている。センターの会員が自ら体験した子育てのノウハウを積極的に生かし、家事援助サービスを通じて社会に貢献していただければ、子育て支援とともに高齢者の生きがいづくり、あるいは健康づくりにもつながるものであり、今後は、センターの方々と協議し、利用状況や利用者の意向を的確にとらえて子育て支援事業に取り組んでまいりたい。

保険

問 ①国保税の負担軽減について

②介護保険料・利用料の減免基準の設置及び給付の充実に

ついて

答 ①国保税の負担軽減のためには、医療費の抑制・削減を考えなければならぬ。医療費の減額ができるよう、保健指導等も行い、町民の健康管理、健康増進を図りながら保険料負担の軽減に努めてまいりたい。

②国が定める減免の4項目に町としてさらに、「これに準ずる特別の事情がある者」ということで、1項目加えて条例を設置している。また、現在3年ごとに見直すことになっている次期介護保険事業計画について、その前段の作業として、被保険者等に対するアンケート調査を実施中である。これら、被保険者の意向等を中心として、保険料の減免やサービス利用料等、いわゆる1割負担の減免のあり方について検討を加えてまいりたい。

入札

問 ①公平、公正に執行されているか

②予定価格の事後報告の義務化を

③一般競争入札を原則に
④入札経過書の交付を

答 ①工事発注については、地元業者を中心に指名競争入札によって発注している。また、発注見通しの公表や入札及び契約過程については、入札・契約事務運用マニュアル等を策定し対応している。

②本年度から入札及び契約の過程に関する事項として、現在公表している落札業者、契約金額等に加え予定価格も、入札執行後に公表するよう検討してまいりたい。

③今後特に大きな工事等を発注する場合に当然の事ながら一般競争入札制度を導入する必要があると考えるが、県等の指導をいただきながら制度の導入に向けて、検討してまいりたい。

④現在、入札結果等の公表に関する事務取扱要領により、指名業者、入札参加業者、各業者ごとの入札金額、落札金額、契約の相手方、契約金額等をすでに公表している。公表の方法としては、閲覧方式によるもので、町民の誰でもが、閲覧できるようになっている。